

オアシス21 療養棟

症 例 概 要 氏名：女性 90 代 要介護度 4

病名：慢性心不全、心筋梗塞PCI後、心房細動、気管支炎拡張症（右中葉）、
気管支喘息、高血圧症、脂質異常症、骨粗鬆症、第3腰椎圧迫骨折後、
低カリウム血症

経過：在宅療養されていたが、2023年3月中旬に自宅の洗面所でお尻から転倒
し腰痛出現。翌日に大学病院を受診しL1圧迫骨折と診断。
日常生活が困難となり、整形外科病院に入院。その後疼痛自製内
となったが、日常生活動作は車椅子介助を要する状況で、「家に帰りたい」と
ご本人の強い希望で自宅復帰を目標に、リハビリを継続する目的で入所。

内 容

圧迫骨折からの退院後、当施設でレスパイトとリハビリ目的で月1回ショートステイを利用し自宅生活を継続していましたが、徐々にご家族の介護負担が増えたことと、冬期間のショートステイの負担があり、2024年12月中旬から越冬のみでの入所となりましたが、

高齢の娘さんは介護に限界を感じている状況もあり、サービス担当者会議ではご家族から介護施設での療養希望があり、特養へ入所する方向でお話がありました。

ご利用者ご夫婦はどこに行くにも一緒に、とても仲が良かったので、ご家族としては特養申し込みの決断にとっても心残りがあるように感じていました。

そんななか、日常の関わりのなかで、ご本人から「自宅ではお父さんと焼酎を飲んで晩酌をしていた」、「これが焼酎だったいいなあ」、「お父さんと晩酌したいな」というお話を聞き取り、私たちが何かできないかと考え、ご家族と相談を重ね、特養入所予定前に、ご家族みんなと晩酌を楽しもうと、居酒屋レクを企画しました。

栄養科の協力でお食事とお酒を準備、通所リハビリの協力で会場を設営、色々な部署の協力も得て、居酒屋を開店。介護士、看護師、セラピスト、ケアマネージャー、相談員、管理栄養士も参加し、できるだけお家での雰囲気と思い、ご家族にいつも自宅で使っているマイグラスも持参して頂き、ご本人は大満足のご様子でした。

久しぶりのお父さんと娘さんご夫婦と一緒に晩酌を楽しまれて、最初は会話も少なくぎこちない様子でし

たが、お酒が入るにつれて会話も弾み、入所中には歌った事がないカラオケを笑顔で歌い、ご本人、ご家族、職員、全員が笑顔の素敵な空間づくりが出来ました。

別れ際には、お父さんの手をずっと握り、涙ぐむ様子も見られています。

ご家族からも「こんなこと、してもらったこと今までにないよ、ありがとう」と感謝のお言葉を頂きました。また、ご家族との絆を改めて感じてもらい、生き生きとした笑顔溢れる姿を見ることができ、私達も暖かい気持ちになり、このために介護をやっているんだと改めて感じられる大切な時間でした。

他部署・多職種が協力してご利用者・ご家族の想いを叶えることができた症例としてキラキラ介護賞へ推薦させていただきます。